

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号

10

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	ヘルスアップ(運動指導)委託事業					
予算科目	4	款	1	項	4	目
予算事業名	健康教育費					
総合計画での位置づけ	健康管理・意識を高める					
担当課	健康福祉課	担当課長	國寄 和幸			
事業担当者	中原 洋子	一次評価者	稲永 みき			
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	-					
事業の対象	原則として20歳以上の成人					
事業の目的	健康診断や健康づくり拠点を活かした、健康づくり活動の充実の一環として、運動指導を中心とした住民の健康増進、疾病改善、認知症予防等を図る。					
実施期間	開始年度	平成 7 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	ヘルスC&Cセンターフィットネスルームにおいて、月・水・金の10時から21時30分まで、健康運動指導士が常駐し、運動指導やエクササイズ指導にあたる。 会員制ではなく、予約不要のビジター制とし、10回利用につき1回利用料無料となるスタンプカードの発行、20時以降は利用料割引の勤労者応援タイムなどを実施し、利用機会の促進を図っている。					
目的達成の指標	フィットネス利用者数					
	区分年度	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32年度
	目標	人	8,750	9,200	10,600	10,650
	実績	人	9,196	10,765		
指標設定の考え方	フィットネスの利用が住民の健康増進、疾病改善、認知症予防等に繋がっていると考えられる。また、利用者の運動習慣の継続により健康管理に繋がる。					
事業遂行時懸案事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・継続者には、現在の利用回数にプラス月1回を目標にして利用頻度の増加の取組を実施する。 ・利用者のニーズを把握するためアンケートを実施する。 ・新規利用者の継続利用に繋げる取り組み継続、強化する。 					
事業実施時懸案事項対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・各個人で利用回数の維持と増加を目指して、個人の運動記録表を作成し、フィットネス全体ではスローガンをかかげて取り組んだ。 ・まつり久山にて、体力測定を実施してフィットネスのPRを実施した。 ・利用者に実施したアンケート内容を検討して、今後の運営に活かす。 					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,622 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算	32 年度予算
事務量	① 人工数	0.14	0.14	0.14
	② 人件費単価	7,381	7,350	7,196
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	1,033	1,029	1,007
事業費	直接事業費	13,566	13,507	12,539
	人件費	1,033	1,029	1,007
	合計	14,599	14,536	13,546
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他	2,240	2,240	2,506
	一般財源	12,359	12,300	11,040
	合計	14,599	14,540	13,546

事業費計画

(千円)

区分/年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度
目標	13,566	13,507	12,539	12,890	
実績	13,564				

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
連携会議	回	12	12	12	12
		12	12		
広報、ホームページ掲載	回	18	16	16	16
		16	16		
チラシ、ポスター配布件数	件	15	10	5	20
		15	12		
実利用者数	人	400	430	520	530
		424	510		
新規利用者数	人	165	205	260	265
		194	254		
定期的(週1回以上)利用	人		80	100	105
		79	96		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,619 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29 年度決算	30 年度予算	30 年度決算
事務量	① 人工数	0.14	0.14
	② 人件費単価	7,129	7,350
	③ 補助事業人件費		0
	人件費(①×②-③)	998	1,029
事業費	直接事業費	13,564	13,507
	人件費	998	1,029
	合計	14,562	14,536
財源内訳	国庫支出金		0
	県支出金		0
	地方債		0
	その他	2,671	2,206
	一般財源	11,891	12,330
	合計	14,562	14,536

実施備忘録

--

自己評価	評価者	中原 洋子
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		A
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		A
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		A
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

フィットネスの周知は、運動指導士と協議を重ねながら工夫し、ホームページの掲載やチラシの作成、ポスターの掲示を実施した。
また、祭りひさやまで体力測定を行ったことで、町内外問わずフィットネスの周知以外にも、運動の必要性を実感してもらえた。フィットネスの継続者には、教室全体で年間を通じて目標を立てて、利用頻度の増加を図った。これらの取組の結果が、実利用人数、延べ利用人数の増加に繋がり過去最高の総利用者数となった。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

実利用人数、延べ利用人数と過去最高になったことで、今後のフィットネスの運用について、利用者のアンケート調査の結果を基にしながら、フィットネスの開室日数や、トレーニング機器使用などの待ち時間に関する対応を検討する。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	稲永 みき
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

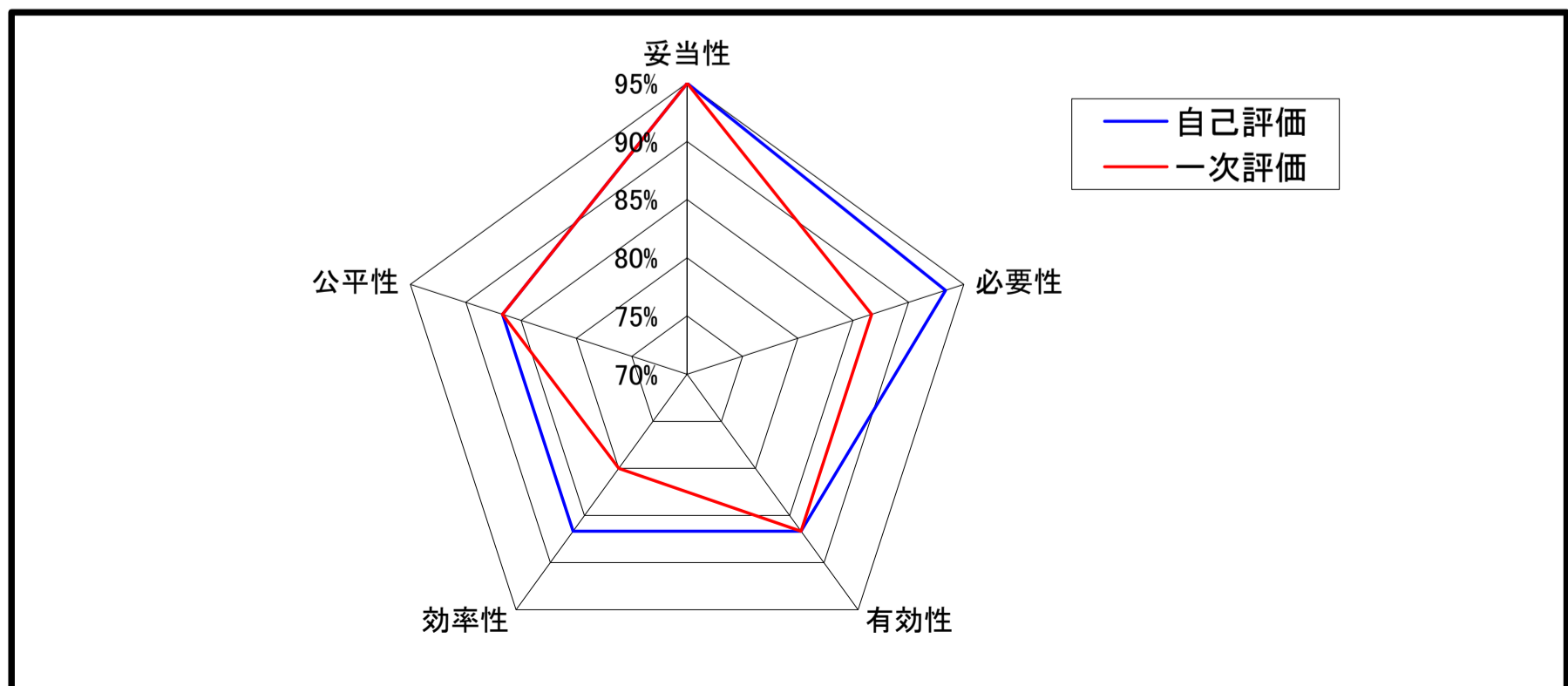
1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	4	A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	A
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

フィットネス事業利用者が新規利用者、実利用者、述べ利用者ともに増加したことについては、評価できる結果である。運動習慣の継続に関する活動指標を追加し、今後の取り組みを強化することにより、健康増進につながると考える。利用者が増えることによる新たな課題については検討をしていく必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	國寄 和幸
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

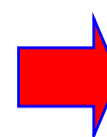
- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

毎年利用者の数も増加している。開催日や時間帯を工夫しながら継続していく。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
 月 日
 までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
 月 日
 開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

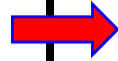
ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--